

8 中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の二種類がある。
- 3 マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

解答番号	解答欄				
1	①	②	●	④	⑤

- 一 次の文章を読んで、あとの問一〜九に答えなさい。(問一〜五はマーク式問題、問六〜九は記述式問題です。)なお、設問の關係で、本文の段落に 1 1 21 の番号を付しています。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

8 中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

8 中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(外山滋比古 「日本語の論理」 による。)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一

a 親疎 とありますが、これと同じ熟語の構成であるものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号1の解答欄にマークしなさい。

- ① 雷鳴 ② 是非 ③ 洗顔 ④ 貴重

問二

b 等閑に付された とありますが、これの本文における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号2の解答欄にマークしなさい。

- ① 物事を軽視しておろそかに扱う
② 物事を注意深く処理する
③ 物事の道理や筋道を一貫させる
④ 物事の仕組みや形を込み入らせない

問三

c 日本語が論理的でないように考えられるのは、ヨーロッパ語の線的論理の尺度によって日本語をおしはかるからであるとありますが、筆者がこのように述べたのはなぜだと考えられますか。その説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号3の解答欄にマークしなさい。

- ① ヨーロッパ語の論理は、語義の範囲が限定されるものとなっていることから、日本語の連想領域が大きくなっている論理は、日常の言語活動におけるインフォーマルなものと判断されるから。
② ヨーロッパ語の論理は、受け手が筋道から脱落しないようがつちりとした構成の表現となっていることから、日本語の省略の多い言語的創造をとまなう論理は、重々しさに欠けたものと評価されるから。
③ ヨーロッパ語の論理は、対立する受け手を前提としていることから、日本語の受け手の連帯感を念頭に置いた論理は、受け手の誤解を招き伝達が成立しないと評価されるから。
④ ヨーロッパ語の論理は、筋を外した解釈が生じないよう配慮されたものとなっていることから、日本語の解釈の余地の大きい論理は、筋道が明確でないと判断されるから。

問四

x 当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号4の解答欄にマークしなさい。

- ① しかし ② したがって ③ さらに ④ あるいは

問五

この文章の構成に関する説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号5の解答欄にマークしなさい。

- ① [1]・[2]段落は、次元の異なる三つの論理の性格について説明し、[3]段落は、それらのうちの二つの論理を考察することが、明治以来の日本の知識人がいじめてきた論理コンプレックスを克服する契機になることを示唆している。
② [4]段落から[8]段落は、線的論理と点的論理が生まれる背景と構造を考察し、[9]段落は、その考察に基づき日本語の性格と論理性を説明し、[10]段落は、その論理性は点的論理の視点を導入すれば説明が可能であることを述べている。
③ [11]段落から[13]段落は、点的論理における線的論理の伏在が、意味的連想による統合作用を可能にしていることを説明しているが、[14]段落は、その線的論理と音声的連想による統合作用とは無関係であるという仮説を提示している。
④ [15]段落から[18]段落は、島国形式言語と大陸形式言語の本質を比喩を用いて表現し、[19]・[20]段落は、双方の言語に類似の傾向が認められることを指摘し、[21]段落は、その傾向の実例としての外国語と日本語の表現を提示している。

8 中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問六 A その代表的な例とありますが、それはどのようなものの代表的な例であると筆者は述べていますか。八十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 B 海綿状に発達した言語においては、直接的でつよい表現を与えることはむしろ効果的でないとありますが、筆者がこのような述べたのはなぜですか。本文中における筆者の主張を踏まえて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問八 C 明晰な表現のあらわす論理が単線であるとするならば、あいまいな表現で伝える論理は複線で、また、いたるところで点線状になっていると考えてよいとありますが、これに先立つ10段落で筆者は、俳句の表現もいわゆる論理、線状の論理から理解しにくいものであるが、点的論理の視点からすればきわめて興味あるものになると述べています。これらの筆者の主張を踏まえて、「あいまいな表現で伝える論理」とはどのようなものであるかを明らかにして、次の【資料】の俳句における「あいまいな表現で伝える論理」を、【資料】から根拠となる叙述を挙げて、具体的に説明しなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【資料】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問九 ㊲㊴について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを平仮名で、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

(大岡信 「名句 歌ごよみ 秋」 による。)

中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち6)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

二 次の文章は、都から離れた常陸の國の国司となつた父親が、娘(作者)を都に残し任地へ旅立つ場面です。これを読んで、あとの問一〜七に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五〜七は記述式問題です。)

親となりなば、いみじうやむごとなくわが身もなり。なむなど、ただゆくへなきことをうち思ひすぐすに、親からうじて、はるかに遠きあづまになりて、「年ころは、アいつしか思ふやうに近き所になりたらば、まづ胸あくばかりかしづきたてて、イ率て下りて、海山のけしきも見せ、それをばさるものにて、わが身よりもたかうもてなしかしづきてみむとこそ思ひつれ。われも人も宿世のつたなかりければ、ありありてかくはるかなる國になりたり。幼かりし時、あづまの國に率て下りてだに、心地もいささかあしければ、これをや、この國に見すてて、まどはむとすらむと思ふ。ひとの國のおそろしきにつけても、アわが身ひとつならば、安らかならましを、ところせうひき具して、いはまほしきこともえいはず、せまほしきこともえせずなどあるが、わびしうもあるかなと心をくだきしに、今はまいておとなになりたるを、率て下りて、わが命も知らず、京のうちにてさすらへむは例のこと、あづまの國、田舎人になりてまどはむ、いみじかるベシ。京とても、たのもしう迎へとりてむと思ふ類、親族もなし。さりとて、わづかになりたる國を辭し申すべきにもあらねば、京にとどめて、永き別れにてやみぬべきなり。京にも、さるべきさまにもてなして、とどめむとは思ひよることにもあらず」と、夜昼嘆かるるを聞く心地、花紅葉の思ひもみな忘れて悲しく、いみじく思ひ嘆かるれど、いかがはせむ。

七月十三日に下る。五日かねては、見むもなかなかなべければ、内にも入らず。まいて、その日は立ち騒ぎて、時なりぬれば、今はとて簾を引き上げて、うち見あはせて涙をほろほとと落して、やがて出でぬるを見送る心地、目もくれまどひてやがて臥されぬるに、とまるをのこの、送りして帰るに、懷紙に、

思ふこと心にかなふ身なりせば秋のわかれをふかく知らまし

とばかり書かれたるをも、え見やられず。事よろしきときこそ腰折れかかりたることも思ひつづけけれ、ともかくもいふべきかたもおぼえぬままに、

かけてこそ思はざりしかこの世にてしばしも君にわかるべしとは
とや書かれにけむ。

いとど人めも見えず、さびしく心ぼそくうちながめつつ、いづこばかりと、明け暮れX思ひやる。道のほども知りにしかば、はるかに恋しく心ぼそきことかぎりなし。明るより暮るるまで、東の山ぎはをながめて過ぐす。

八月ばかりに太秦にこもるに、一条より詣づる道に、男車、二つばかり引き立てて、ものへ行くにもろともに来べき人待つなるべし。過ぎて行くに、隨身だつ者をおこせて、

花見に行くとき君を見るかな

といはレ世たれば、かかるほどのことは、いらへぬも便なしなどあれば、

千ぐさなる心ならひに秋の野の

とばかりいはせて行き過ぎぬ。七日さぶらふほど、ただあづま路のみ思ひやられて、よしなし事からうじてはなれて、「平らかにあひ見せたまへ」と申すは、B仏もあはれと聞き入れさせたまひけむかし。

冬になりて、日ぐらし雨降りくらいたる夜、雲かへる風はげしううち吹きて、空はれて月いみじう明うなりて、軒近き萩のいみじく風に吹かれて、碎けまどふがいとあはれにて、

秋をいかに思ひいつらむ冬深み風にまどふ萩の枯葉は
あづまより人來たり。

中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち7)

受験番号	
氏名	

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

「神拝といふわざして国のうちありきしに、水をかしく流れたる野の、はるばるとあるに、木むらのある、をかきし所かな、見せ
 でとまづ思ひ出でて、『こころはいづことかいふ』と問へば、『子しのびの森となむ申す』と答へたりしが、身によそへられて Y いみ
 じく悲しかりしかば、馬よりおりて、そこに一時なむながめられし、

とどめおきてわがこどものや思ひけむ見るにかなしき子しのびの森

となむおぼえし」

とあるを見る心地、いへばさらなり。返事に、

子しのびを聞くにつけてもとどめ置きしちちぶの山のつらきあづま路

(菅原孝標女 「更級日記」 による。)

問一 a な、 b べし、 c ぬ、 d せとありますが、それぞれの助動詞の本文における意味の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号は6の解答欄にマークしなさい。

- | | | | |
|--------|------|------|------|
| ① a 完了 | b 推量 | c 完了 | d 使役 |
| ② a 強意 | b 意志 | c 打消 | d 尊敬 |
| ③ a 強意 | b 推量 | c 打消 | d 使役 |
| ④ a 完了 | b 意志 | c 完了 | d 尊敬 |

問二 ア いつか とありますが、これの本文における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号は7の解答欄にマークしなさい。

- ① すでに ② ようやく ③ いつでも ④ 早く

問三 イ 率 の活用の種類として適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号は8の解答欄にマークしなさい。

- ① ワ行上二段活用 ② ア行上二段活用 ③ ワ行上二段活用 ④ ア行上二段活用

問四 ウ 子しのびを聞くにつけてもとどめ置きしちちぶの山のつらきあづま路 とありますが、この和歌に用いられている修辭として適切なものを、次の①～⑤の中から二つ選び、その番号を答えなさい。解答番号は9の解答欄にマークしなさい(この解答欄では二つマークしてよい)。

- ① 枕詞 ② 掛詞 ③ 序詞 ④ 折句 ⑤ 体言止め

問五 A わが身ひとつならば、安らかならましを、 B 仏もあはれと聞き入れさせたまひけむかし の現代語訳をそれぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 X 思ひやる とありますが、これはどのようなことを思っているのですか。本文の内容に触れて、三十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 Y いみじく悲しかりしかば とありますが、父親がこのような心情になったのはなぜですか。本文の内容に触れて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち8)

受験番号	
氏名	

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔三〕 次の文章を読んで、あとの問一〜六に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五・六は記述式問題です。) なお、設問の關係で返り点・送り仮名・符号を一部省略しています。

楚絶^レツ^ニ齊^ニ。齊^ニ挙^レゲ^テ兵^ヲ伐^レツ^ニ楚^ヲ。注^一陳軫謂^ニツ^テ楚王^一曰ク、「王不^レト如下^カ以^レテ地^ヲ東^ハ解^ニキ^ニ於^ニ齊^一ニ、西^ハ講^中ゼン^ニハ於^ニ秦^上ニ。」X王使^ニム陳軫^ヲシテ之^レカ秦^ニ。秦王謂^レツ^テ軫^ニ曰ク、「子ハ秦人也。寡人ト与^レハ子故アリ也。寡人^ニ不^レ佞^ニシテ、不^レ能^ハハ親^ニラスルコト国事^一ヲ也。Y故^ニ子棄^ニテテ寡人^一ヲ事^ニヘタリ楚王^一ニ。今齊楚相伐ツ。或イハ謂^ニヒ救^レフ^ニ之^ヲ便^一ナリト、或イハ謂^ニフ救^レフ^ニ之^ヲ不^レ便^一ナリト。子獨リ不^レル可^下カラ以^レテ忠ヲ為^ニ子ノ主^一ノ計リ、以^ニテ其ノ余^一ヲ為^中ニス寡人^上ノ平ト。」

陳軫曰ク、「王獨リ不^レ聞^ニカ呉人之^ア遊^レベル楚^ニ者^一ヲ乎。楚王甚^ダ愛^レス之^ヲ。病ム。故^ニ使^ニメテ人ヲシテ問^レハ之^ニ曰ク、『誠^ニ病メル乎。意^ニ亦思フ乎ト。』左右曰ク、『^a臣不知其思与不思。誠^ニ思ハバ則チ將^トニ呉吟^一セント。』今軫將^ニ為^レニ王ノ

〔b〕 呉吟^一セント。

王不^レ聞^ニカ夫ノ管与之説^一ヲ乎。有^ニリ兩虎争^レウ^テ人ヲ而闘^一フ。管莊子將^レニ刺^レサント之^ヲ。管与止^レメテイ^ニ之^ヲ曰ク、『虎者^注三^ニ虎^一也。人者甘餌ナリ。今兩虎争^レウ^テ人ヲ而闘^一フ。小ナル者ハ必ズ死シ、大ナル者ハ必ズ傷ツカン。子待^ニツ^テ傷虎^一ヲ而刺^レサバウ^ニ之^ヲ、則チ是^レ一挙シテ而兼^ニヌル兩虎^一ヲ也。無^下クシテ刺^ニス一虎^一之^ヲ勞上、而有^下ラント刺^ニス兩虎^一之^ヲ名上。』齊楚今戦フ。戦ハバ必ズ敗レン。敗レバ、王起^レシテ兵ヲ救^レヘエ^ニ之^ヲ。有^ニツ^テ救^レフ^ニ齊^一之^ヲ利^一、而無^ニケント伐^レツ^ニ楚^一之^ヲ害^一。」

「計聴^ニ知^ニル^一注^四覆逆^一ヲ者ハ、唯ダ王ノミ可也。計ナル者ハ、事之本也。聴ナル者ハ、存亡之機ナリ。Z計失シテ而聴過チ、能ク有^レツ^ニ国^一ヲ者ハ寡シ也。故^ニ曰ク、計^ニ有^ニル^一一^ニ者ハ難^レク悖^タセ、聴^ニ無^レキ失^ニスル本末^一ヲ者ハ難^レシト惑^ハシ。」

(「戦国策」による。)

(注1) 陳軫 〓 戦国時代の遊説家。

(注2) 不佞 〓 才能のないこと。男性が自分をへりくだっている語。

(注3) 虎 〓 虎の異名。虎は食欲、蟲(虫)は動物の総称で、食欲な動物の意味。

(注4) 覆逆 〓 先のことを予見すること。

中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち9)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 ア 遊の本文中における意味と同じ意味の「遊」を含む熟語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

- ① 遊牧 ② 遊戯 ③ 遊学 ④ 遊泳

問二 イ之、ウ之、エ之とありますが、それぞれの指し示すものの組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。

- ① イ王 ウ人 エ楚
② イ管荘子 ウ虎 エ斉
③ イ王 ウ虎 エ楚
④ イ管荘子 ウ人 エ斉

問三 a 臣不知其思与不思を、「しんそのおもふとおもはざるとをしらず」と訓読する場合、「与」にどのような返り点を施せばよいですか。その返り点として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① 上 ② レ ③ 一 ④ ㄟ

問四 b 呉吟とは「呉の歌を口ずさむ」という意味ですが、この場面で陳軫は具体的にどのようなことをしようとしているのですか。最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号13の解答欄にマークしなさい。

- ① 秦王の案に呉を唱えること
② 秦王に献策すること
③ 秦王の評判を吹聴すること
④ 秦王に呉の戦況を伝えること

問五 X 王使_ニ陳軫_ヲ之_レ以_テ秦_ニ、Y 故_ニ子棄_ニ寡人_一ヲ事_ニ楚王_ニの現代語訳を、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 Z 計失_{シテ}而聴_過テ、能_ク有_レ国_ヲ者ハ寡_シ也とありますが、陳軫がこのように述べたのはなぜですか。秦王が陳軫に諮った内容に触れて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち10)

受験番号

氏 名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

四 平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領 国語 に示されていることについて、次の問一・二に答えなさい。

問一 次を示す、各学年の目標及び内容 「第1学年」 目標について、A に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号14の解答欄にマークしなさい。

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- (2) A や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

- ① 具体的に考える力
- ② 論理的に考える力
- ③ 筋道立てて考える力
- ④ 順序立てて考える力

問二 次を示す、指導計画の作成と内容の取扱いについて、次のB ～ E に当てはまる数値の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号15の解答欄にマークしなさい。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (4) 各学年の内容の「思考力、判断力、表現力等」の「A話すこと・聞くこと」に関する指導については、第1学年及び第2学年では年間B 単位時間程度、第3学年では年間C 単位時間程度を配当すること。その際、音声言語のための教材を積極的に活用するなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること。

- (5) 各学年の内容の「思考力、判断力、表現力等」の「B書くこと」に関する指導については、第1学年及び第2学年では年間D 単位時間程度、第3学年では年間E 単位時間程度を配当すること。その際、実際に文章を書く活動を重視すること。

④	③	②	①	
20 }	10 }	30 }	15 }	B
30	20	40	25	
30 }	15 }	20 }	10 }	C
40	25	30	20	
10 }	20 }	15 }	30 }	D
20	30	25	40	
15 }	30 }	10 }	20 }	E
25	40	20	30	

中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち11)

受験番号

氏 名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【五】平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領 国語 各学年の目標及び内容 「第3学年」 内容 「思考力、判断力、表現力等」 C 読むこと (1) ウ には、「文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。」と示されています。あなたは、この指導事項に基づいた単元を設定しようとしています。次の表中の【目標】は、この指導事項に基づいて設定した「思考力、判断力、表現力等」の目標、【言語活動】は、【目標】を達成するための言語活動、【評価規準】は、この単元において設定した「思考・判断・表現」の観点に関する評価規準です。また、【単元の流れ】は、この単元の流れを示したもの、【ポイント】は、単元の流れにおいて指導する際のポイントとして設定した事項で、【教材】及び【資料】は、この単元で使用するもので、同じ作者の作品です。これらについて、あとの「問い」に答えなさい。

【目標】	表現の仕方について評価することができる。
【言語活動】	【資料】を踏まえて【教材】を読み、表現の仕方について批評する文章を書く。
【評価規準】	「読むこと」において、表現の仕方について評価している。
【単元の流れ】	【一次】 単元の見通しをもち、教科書を用いて表現の仕方についてどのように評価すればよいかについて学び、【教材】の表現の仕方について評価する。 【二次】 【資料】を踏まえて【教材】を読み、【一次】の学習を生かして【教材】の表現の仕方について、再度評価する。 【三次】 【一次】と【二次】で表現の仕方について評価したそれぞれの文章の比較を通して、表現の仕方について評価するためのポイントをまとめる。
【ポイント】	○ 【二次】で【資料】を踏まえて【教材】を読む際には、【資料】に表れているものの見方や考え方が、【教材】にどのように表れているかを捉えるよう指導を行う。 ○ 【二次】で表現の仕方について評価する際には、【資料】のものの見方や考え方を正確に伝えたり印象付けたりする上で、【教材】の様々な表現の仕方がどのような効果を上げているかについて考えるよう指導を行う。

【教材】

残果

友らみな梢を耐して

市にはこばれ売られしが

ひとりかしこに残りしを

木守りといふ

蒼天のふかきにありて

紅の色冴えわたり

肱張りて枯れし柿の木

瘦竜に晴を点ず

8 中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち12)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

木守りは
木を守るなり

鴉のとりも鴨^{カモ}どりも
尊みてついにまずけり

みぞれ待ち雪のふる待ち
かくてほろぶる日をまつか

知らずただしは
寒風に今日を誇るか

(三好達治 「残果」 による。)

【資料】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(中野孝次編 「三好達治随筆集」 による。)

【問い】 あなたは、この単元の【単元の流れ】に示す【二次】において、「【資料】を踏まえて【教材】を読み、【教材】の表現の仕方について評価する文章を書き交流する」ということを学習課題として設定して、【ポイント】を踏まえた指導をしようとしています。
【二次】において、生徒が、【資料】を踏まえて【教材】を読み、表現の仕方について批評した文章として、「おおむね満足できる」状況(B)を満たす文章を具体的に想定して書きなさい。なお、文章を書く際には、【教材】及び【資料】の中から根拠を挙げることとします。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

氏名

⑧ 中学校 国語科 マーク式解答用紙

受験番号

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

一

解答番号	解答欄
1	① ② ③ ④ ⑤
2	① ② ③ ④ ⑤
3	① ② ③ ④ ⑤
4	① ② ③ ④ ⑤
5	① ② ③ ④ ⑤

二

解答番号	解答欄
6	① ② ③ ④ ⑤
7	① ② ③ ④ ⑤
8	① ② ③ ④ ⑤
9	① ② ③ ④ ⑤

三

解答番号	解答欄
10	① ② ③ ④ ⑤
11	① ② ③ ④ ⑤
12	① ② ③ ④ ⑤
13	① ② ③ ④ ⑤

四

解答番号	解答欄
14	① ② ③ ④ ⑤
15	① ② ③ ④ ⑤

〔記入上の注意〕

1. 余白には何も記入しないでください。
2. HBまたはBの鉛筆で該当する ○ にマークしてください。
マーク例 《良い例》 ●
《悪い例》 ∇ ∅ ✕
3. 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
4. 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する ○ にマークしてください。

中学校

国語科

記述式解答用紙

(3枚のうち1)

受験番号

氏
名

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号												
解答欄												
問一～五は、マーク式解答用紙に記入すること。												
問六				問七				問八				
問九				問七				問八				
⑦												
①												
②												
③												
④												
⑤												
⑥												
⑦												
⑧												
⑨												
⑩												
⑪												
⑫												
⑬												
⑭												
⑮												
⑯												
⑰												
⑱												
⑲												
⑳												
㉑												
㉒												
㉓												
㉔												
㉕												
㉖												
㉗												
㉘												
㉙												
㉚												
㉛												
㉜												
㉝												
㉞												
㉟												
㊱												
㊲												
㊳												
㊴												
㊵												
㊶												
㊷												
㊸												
㊹												
㊺												
㊻												
㊼												
㊽												
㊾												
㊿												

中学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち2)

受験番号

氏名

問題番号

解答欄

問一～四は、マーク式解答用紙に記入すること。

問五

A

B

問六

問七

二

問題番号

解答欄

問一～四は、マーク式解答用紙に記入すること。

問五

X

Y

問六

三

四は、マーク式解答用紙に記入すること。

8

中学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち3)

受験番号

氏名

問題番号

解答欄

五

中学校国語科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	採 点 上 の 注 意	配 点
問一	2		3
問二	1		3
問三	4		3
問四	3		4
問五	2		6
問六	くどくど説明する必要がなく、要点だけをかいつまんで述べるだけで誤解も生じず、お互いが熟知し合った集団の内部においては敬遠されるような表現の代表的な例。(75字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
問七	海綿状に発達した言語においては、受け手に強い連想作用が具わっており、軽く間接的で象徴的な表現がよく利くため、直接的でつよい表現は受け手に重苦しいものとして感じられてしまうから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
問八	筆者の述べる「あいまいな表現で伝える論理」とは、親密な者同士の伝達で用いられる点的論理であり、言葉の連想領域が大きく語義が広範囲に及ぶ上に、潜在する論理が下敷きとなっているため、話の筋道が明白でなく解釈の余地が大きく、間接的な表現が効果的であり、表現の余韻や含蓄などが重視される論理である。 この筆者の主張を踏まえると、【資料】の俳句における、「彼一語我一語」と「秋深みかも」という一見無関係と思われる語句を組み合わせることで秋の静寂な情景を連想させることに、筆者の述べる「あいまいな表現で伝える論理」が隠れていると考える。たとえば、【資料】には「「彼」と「我」がそれぞれ発した「一語」がどういう言葉だったのかも、わからない」「言うに言われぬ時が流れて、二人の男も、発した言葉も、深い秋のまっただなかにある」とある。俳句には、「一語」の内容も秋の深まりを感じた理由も示されていない。しかし、読者は二人の男も、発した言葉も、深い秋のまっただなかにあるという情景を思い浮かべることができる。これは、「一語」がきっかけとなり秋の深まりを実感していると推測できるとともに、「一語」の森閑とした響きから秋の静寂さを連想できるからである。これらについて、【資料】には「それゆえにこの句の世界は成り立っているという逆説的な性格がこの句にはある」とある。 これは、筆者の述べる「あいまいな表現で伝える論理は複線で、また、いたるところで点線状になっている」「点的論理の視点からすればきわめて興味あるものになる」という主張に当てはまると考えられる。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	20
問九	㊦ こうなん ㊧ 摩擦 ㊨ 媒介 ㊩ やば ㊪ かん	語として採点する。	各2×5

中学校国語科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
二	問一	3		3
	問二	4		3
	問三	1		3
	問四	2、5	二つとも合っているものだけを正答とする。	4
	問五	A 私人であるならば、気も楽であろうに	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
		B 仏も不憫に思ってお聞き届けくださっただろうよ		
	問六	東国に下った父親が今どのあたりにいるのだろうかということ。(29字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
三	問七	娘を遠い京に残して東国に来ている中、風光明媚な場所に出会い、娘に見せてやれないことを残念だと思っていると、そこが「子しのびの森」と呼ばれていることを知り、「子しのびの森」と、娘が気がかりである今の自分が同じであると思ったから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
	問一	3		3
	問二	2		3
	問三	4		3
	問四	2		3
	問五	X 王は陳軫を秦に行かせた	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
		Y そのため、あなたは私を見捨てて楚王に仕えてしまった		
	問六	斉と楚とが争う中で戦いに加わるかどうかを陳軫に諮った秦王に対し、陳軫は楚の国を討つことは得策ではないという提案を行い、国を持続させるためには、王として計略を立て、献策に耳を傾ける姿勢が重要であると説き、秦王の依頼に応えとともに、楚の国を守ろうと考えたから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	12
四	問一	3		6
	問二	1		6

中学校国語科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
五	【資料】を踏まえて【教材】を読むと、【教材】には木守りという孤高の存在を印象的に表現しようとする、筆者のものの見方や考え方が表れていると考える。 たとえば、【資料】には「それはひとり眼を見はって、その木をいつまでも見守りつづけているような風に見えます」とあり、「ひとり眼を見はって」という表現から、木守りがたったひとり、自ら注意深く見渡して木を守っていることを意味していると分かる。これを踏まえると、【教材】の「ひとりかしこに残りし」では、「残されし」という受け身の表現でなく、「残りし」という表現を用いることで、木守りが意思をもって樹上に留まり続けていることを表していると考えられる。加えて、【教材】には「知らずただしは寒風に今日を誇るか」とある。「誇るか」という疑問の表現は、筆者の木守りに対する問いかけであるが、これに対する木守りの返答は示されていない。木守りの返答を示さないことで、木守りの超然として誰ともなじまない様子を表していると考えられる。 これらのことから、筆者は木守りを詩に表すことで、木守りを孤高の存在として印象的に伝えようとしていると考えられる。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	50